

## 令和2年度第2回岡崎市地域包括支援センター・地域密着型サービス運営協議会議事録

### 1 日 時

令和2年11月30日(月)午後2時～午後3時30分

### 2 場 所

岡崎市消防本部3階講堂

### 3 出席委員

柏原委員、若山委員、永井委員、竹本委員、中山委員、中根委員、権委員、鈴木委員、檀委員 以上9名

### 4 欠席委員

なし

### 5 事務局

福祉部：中川部長

長寿課：小河次長、藤谷副課長、岡本地域包括ケア推進係係長、  
早川主査、浅見主事

介護保険課：野澤課長、手島副課長、手島事業所指定係係長、水谷主査

福祉総合相談体制準備室：齋藤室長、林主任主査

### 6 議 事

第8期施設整備計画について【公開】

イ 第7期施設整備計画の進捗状況について

ロ 第8期施設整備計画(案)について

地地域包括支援センターの運営について【公開】

イ 委託先事業所について

ロ 岡崎市重層的支援体制整備事業の概要について

### 7 議事録(要旨)

－議事 について－【公開】

議事 について事務局より説明

柏原会長 ありがとうございます、なにかご意見ご質問はありますか。

若山委員 地域密着型特別養護老人ホームで募集をして、応募が来る可能性はあるのでしょうか。

事務局 数は少ないですが、市内の法人から地域密着型特別養護老人ホームを設置したいとの意向をいただいております。また、第7期から市外の法人にも募集の案内をしており、反応もありましたので、引き続き市外法人への呼びかけも続けていきたいと考えています。

若山委員 今後、大規模な特別養護老人ホームの設置を施設整備計画に入れる可能性はあるのでしょうか。

事務局 現状では大規模な特別養護老人ホームの設置には、国と県からの補助

- 金がないため、限られた予算の中で設置を計画に入れることは難しいと考えています。
- 若山委員 ハードだけ計画しても人材が足りないということにはならないでしょうか。
- 柏原会長  
事務局 介護人材確保の観点ではどうでしょうか。  
介護人材確保の観点から、施設数についてはかなり絞って計画しています。介護人材確保については一朝一夕に実現することは難しいため、引続き取組みを進めてまいります。
- 柏原会長 整備予定圏域は細かく定めないようですが、施設の申請が出てきてから、施設の設置が特定の地域に偏ってしまうという議論が起きてしまわないように、あらかじめ十分な施設がある地域は募集から除外するなどの対処をした方がいいかもしれません。他にソフトという点から、どのようなことを実施していますか。
- 事務局 介護人材の確保及び育成のため、福祉フェアを実施し、就職相談などを行っております。また資格取得を促進するための補助金を交付しています。これまでも現場と連携し人材確保対策を実施してきましたので、引き続き現場の声を踏まえた取組みを考えていく予定です。
- 柏原会長 事務局側のイメージとしては「ソフト」イコール「人材」という理解でしょうか。
- 事務局 狭い意味では人材をイメージしておりますが、サービスの質も含めたものと考えています。ただし、人材不足により十分なサービスの質の確保が難しいということも認識しています。
- 永井委員 ソフトを充実させたい一方でハードをとというやり方もあるとは思いますが、ソフトの整備については、ある時点では採用し育成できたとしてもその人たちがずっと介護を担っていけるわけではないと思いますので、ハードの整備についても必要性があるのであればある程度計画を立てて、実施していく必要があるように思います。
- 会長 では議事 についてはハード面だけではなくソフト面も充足を図っていくということで、了承してよろしいでしょうか。賛成多数により議事 は了承されました。

－議事 について－【公開】

議事 について事務局より説明

- 柏原会長 ご説明ありがとうございました。本協議会では地域包括支援センターのどのような点について意見を申し上げればよろしかったでしょうか。
- 事務局 将来的には地域包括支援センターの機能を拡大していきたいと考えておりますが、まず来年度については、基幹型包括の機能を拡充するための予算要求をしております。今後、地域包括支援センター・地域密着型サービス運営協議会へは地域包括支援センターの機能の拡大など

案を提示させていただき、ご意見をいただければと考えております。

鈴木委員 相談支援包括化推進員はどのようなことを行うのですか。またコミュニティソーシャルワーカーは誰が担うのでしょうか。

事務局 相談支援包括化推進員は複数の分野にまたがった課題のある方に対するコーディネートを行います、来年度設置されるふくし相談課の市の正規職員が担う予定です。またコミュニティソーシャルワーカーは現在でも社会福祉協議会の職員2名が担当しています。

壇委員 16ページに居場所と記載がありますが、地域の集会場を利用しようと思っても、常にいっぱいではなかなか利用できないということもありますので居場所の確保はとても大切だと考えております。今後地域の居場所が増えるように推進していただきたいと思います。

中山委員 どれくらいの人数でこの事業を担う予定なのでしょうか。

事務局 ふくし相談課の職員、市の委託する社会福祉協議会、愛恵協会の職員で担っていく予定です。人数については要望中ですので未定です。

権委員 地域で活躍されている方々に事業に協力をしていただくのはどうでしょうか。

事務局 事業の理想としては先ほど説明した通りですが、実際には現場の職員の意見を聞きながら、体制を整備していこうと考えております。それに加えて地域の役員、民生委員児童委員、各相談支援事業所、学区福祉委員会、地域のボランティア団体の皆様とも連携を進めていきたいと考えています。

会長 ありがとうございます。これで議事を終了いたします。

## 9 閉会